

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「パイオニア108日（系統名34N84）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「パイオニア108日（系統名34N84）」が既存の奨励品種に比較して収量性に優れ、その他の生育特性も同等または優れることが明らかになったので奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴 アメリカで育成されたデント種×デント種の単交配品種であり、平成18年からパイオニアハイブレッッドジャパン株式会社が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」対比）</p> <p>(1) 発芽の良否及び初期生育は同程度で良好である。</p> <p>(2) 絹糸抽出期は2日程度、刈取期は4日程度遅い早生品種である。</p> <p>(3) 稈長及び着雌穂高は同程度で、倒伏折損の発生は軽微であり、耐倒伏性に優れる。</p> <p>(4) すず紋病の発生は同程度で低く、紋枯病の発生は少ない。</p> <p>(5) 乾物収量は3か年平均で106%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成22年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「パイオニア108日（系統名34N84）」の生育特性及び収量

(平成20～22年 青森畜産研)

品種名 (系統名)	年次	発芽の 良否	初期 生育	絹糸 抽出期 (月/日)	刈 取期 (月/日)	生育 日数 (日)	刈取時の形質			倒 伏 (%)	折 損 (%)	病害		乾物収量		雌 穂 割 合 (%)
							稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	稈径 (cm)			すす 紋病 (1-9)	紋枯病 (%)	(kg/10a)	標 準 比	
パイオニア108日 (34N84)	20	9.0	6.0	8/9	10/1	145	238	104	1.6	1.1	0.0	1.0	3.4	1,698	114	52
	21	9.0	7.0	8/9	9/30	142	219	85	1.6	1.1	0.0	2.3	5.6	1,581	101	59
	22	9.0	7.0	7/31	9/21	134	193	73	1.6	0.0	0.0	3.3	2.2	1,743	104	61
	平均	9.0	6.7	8/6	9/28	141	217	87	1.6	0.7	0.0	2.2	3.7	1,674	106	57
パイオニア106日 (36B08) 標準品種	20	9.0	5.0	8/9	10/1	145	223	92	1.6	0.0	0.0	1.0	2.8	1,494	100	51
	21	9.0	6.0	8/7	9/28	140	231	77	1.6	0.0	0.0	1.0	1.1	1,565	100	57
	22	9.0	7.3	7/26	9/13	126	191	78	1.6	0.0	0.0	2.0	11.3	1,670	100	57
	平均	9.0	6.1	8/4	9/24	137	215	82	1.6	0.0	0.0	1.3	5.1	1,576	100	55

- (注) 1 発芽の良否及び初期生育は9（極良）～1（極不良）とする評点法による。
 2 倒伏、折損は倒伏個体、折損個体の全個体に対する割合。
 3 すず紋病は被害程度と被害面積に応じて1（無）～9（甚）とする評点法による。
 4 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。

耕種条件

項目	内 容
試験圃場	平成22年で連作3年目の圃場
播種期	平成20年5月9日、平成21年5月11日、平成22年5月10日
栽植密度	7,017本/10a（畝間75cm、株間19cm）
施肥量	平成20年 : N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=15-15-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a ようりん100kg/10a
除草法	平成21、22年 : N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=10-10-0kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a 播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布